

外郭団体ミッション遂行評価票

【令和2年度取組結果】

団体名	公益財団法人 北九州市学校給食協会
-----	-------------------

所管課	教育委員会 学校保健課
-----	-------------

団体に対するミッション
<p>①学校給食の食材調達において、確実な選定・検査を実施すると共に、関係機関との連絡調整をより緊密に行うことで、天候や社会状況の影響をより軽減し、食材を安定的に供給する。</p> <p>②学校給食で使用する食材については、地産地消の考え方にに基づき、まずは市内産、市内産でも確保しにくい場合は県内産、そして九州産、国内産の順に使用し、地産地消を推進する。</p>

行財政改革大綱における見直し内容
<p>今後も、市立小中学校・特別支援学校に、安全で安定的な学校給食用物資の調達に努めるとともに、地産地消の取組みを進めるなど、食育の推進を図る。</p> <p>また、職員個々の能力向上に努め、協会の機能が十分発揮されるよう、業務の充実・見直しを図っていくことにより、さらなる経費削減に努める。</p>

ミッションに基づく中期計画								
3～5年後に目指す状態	食材調達において、確実な選定・検査を実施すると共に、関係機関との連絡調整をより緊密に行い、食材の安定的な供給を目指す。 また、学校給食で使用する食材については、市内産、県内産、九州産、国内産の順に使用し、地産地消を推進する。							
主な成果指標	年度ごとの目標及び実績（太枠は最終目標年度）							
	H28	H29	H30	R1	R2		R3	R4
	実績	実績	実績	実績	目標	実績	目標	目標
重大事故による給食の提供中止	0件	0件	0件	0件	0件	0件		
地場産物の使用割合（品目比ベース）	38.1%	38.1%	39.0%	42.1%	前年比増	42.5%		
地場産物の使用割合（重量比ベース）	16.0%	13.0%	19.8%	18.7%	前年比増	20.4%		

ミッションの遂行状況の評価（令和2年度）			
団体における評価	6月23日まで新型コロナウイルス感染症により学校給食を実施しなかった。再開後、食材の選定・検査を適切に実施し、重大な事故を招くことなく、安定的に食材供給を行った。地場産物の使用割合も、品目比ベース、重量比ベースともに目的を達成できた。ミッションを達成できた。	市の評価	市立学校の臨時休業期間のある中で、年間を通じて安定的な給食用物資の調達を行ったことは評価できる。 また、成果指標を達成していることも評価できるが、引き続き、関係機関と連携を図りながら、地場産物の確保に取り組んでいく必要がある。
	今後の課題及び見直し内容（案） 今後も食材の安定的な供給を目指すとともに、年11回開催の学校給食用物資地産地消推進協議会において地場産物を学校給食に提供できるよう協力を依頼していく。 ※ 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症により同協議会は7回しか開催しなかった。		団体への改善指導内容（案） 学校給食用物資地産地消推進協議会の場を活用するなど、生産者とより密な情報共有を行い、地場産物の使用割合増加に努めるよう指導していく。

その他～「行財政改革大綱における見直し内容」の取組み状況	
見直しの分類	－
安全で安定的な学校給食用物資の調達に努めるとともに、地産地消の取組みを進め、食育の推進を図っている。 また、職員個々の能力向上に努め、協会の機能が十分発揮されるよう、業務の充実・見直しを図っている。なお、可能な限り、経費削減にも努めている。	